

着衣泳（水上安全法短期講習）

1. 学習のねらい

着衣泳や身の回りにあるものを浮き具として利用する方法の習得を通じて、自分自身の安全を守り、まわりの人と協力して溺者を助けるためのリーダーシップについて学ぶとともに、自分やまわりの方の命や健康の大切さを振り返る。

2. 学校または児童・生徒に用意していただく資材

水着、ゴーグル、バスタオル等、濡れてもよい清潔な服（長袖、長ズボンが好ましい）、ビニール袋（普通サイズのレジ袋程度の大きさ）、泥を落とした靴、1.5ℓ～2ℓのペットボトル（2人に1本）、ビート板（※ある場合のみ）

3. 講師

赤十字水上安全法指導員（※必ず教職員も現場で安全管理に努めて下さい）

5. 学習時間

安全管理のため、45分～50分の1限分を上限とします。

6. 人数

原則クラス単位

7. 申し込み

こちらのページからお申し込みください（クリック）

[日本赤十字社大阪府支部「講習会について」のページ](#)

8. その他

実施前には当日の指導者より担当教員あてに連絡し、事前打ち合わせをさせていただきます。